

日本共産党千葉県議会報告

2014年4月

県議会控室

260-8667 千葉市中央区市場町1-5 日本共産党千葉県議団
電話 043(223)2544
http://www.jcp-chibakengikai.jp/

みなさんの声にこたえて

小松実 県議

千葉県中小企業家同友会のみなさんと懇談

地域のお金が地域内に投資され、雇用と利益を生み、消費を元気にし、自治体財政を潤し、さらに再投資されていく「地域循環型経済」の発展で意気投合しました。(写真：向かい側右が小松実県議)



加藤英雄 県議

放射性指定廃棄物の処理は安全最優先・住民合意で

放射性指定廃棄物の手賀沼終末処理場への一時保管問題で、県による「住民だまし」や放射能汚染への危機感の欠如などを告発し、安全を最優先し住民合意を基本とするよう強く要求しました。



丸山慎一 県議

オスプレイ配備中止を申し入れ

政府は危険な輸送機オスプレイの自衛隊配備を決め、整備拠点の選定を進めています。その候補地として木更津基地が浮上しており、県民の安全を守るため防衛省に配備中止を申し入れました。



岡田幸子 県議

予算委員会で教育問題を追及

「教育の無償化は世界の流れ、高校授業料無償化への所得制限導入に反対を」と要求。先生の多忙化の実態を告発し、「必要な正規教員をきちんと確保し、多忙化の解消を」と迫りました。



福祉浦社ケ袖 センター 暴行死事件

“安上がりの福祉”では命が守れない 県の責任で正規職員を増やし、研修の充実を

内部告発をまともにとりあげなかった県行政

県立知的障害者施設「袖ヶ浦福祉センター」での職員による暴行死事件は、県民の大きな怒りをよんでいます。二度と起こしてはなりません。

共産党は、2002年当時の「内部告発」で県に寄せられていた虐待の事例を示して追及。県がこの告発にもとづいて施設側に改善を勧告した後も虐待や性

内部告発で寄せられた事例

- 入所者を血だらけになるほど殴りつけ、大けがをさせているにもかかわらず、これを本人がベッドにぶつかったことにして処理した。
- 仕事に失敗した入所者に対して、角材をひざの裏に挟んで見せしめのように、一日中、正座させていた。
- 歯を折る、骨折させる、ほうきの柄を背中にさして正座させる、みんなで囲んでリンチまがいのことをする、食事を抜くなどがやられていた。

的暴行が長期間行われ、しかも暴行行為で処分を受けた職員が施設の中心的な幹部職員に昇進している異常な事態を厳しく批判しました。

事件の背景に 県の大規模なリストラ

県が進めてきた自治体リストラが福祉現場の技術や専門知識の低下を招き、虐待につながる要因となりました。2005年の大規模リストラの結果、今回事件が起こったセンターの職員は、正規が141人から85人に大幅減、一方、一年契約の非正規は17人から67人へと急増しました。

住みよい千葉県をめざして
がんばります



小松 実
千葉市花見川区
総務防災常任委員



加藤 英雄
柏市
県土整備常任委員



丸山 慎一
船橋市
健康福祉常任委員



岡田 幸子
市川市
文教常任委員

リストラは虐待まねく 危惧を指摘した共産党

このリストラ当時、共産党は「熟練職員をこんなに減らしたのでは虐待も起こりかねない」と厳しく指摘しました。経済効率優先、安上がりの福祉では、命と人権は守れません。正規職員を確保し、研修を充実させ、自由にモノが言える職場づくりをすすめることこそが、県の責任であり、奪われた命に報いるただ一つの道ではないでしょうか。

日本共産党

庶民苦しめる大增税、「戦争する国」づくり

安倍政権の暴走に立ち向かう

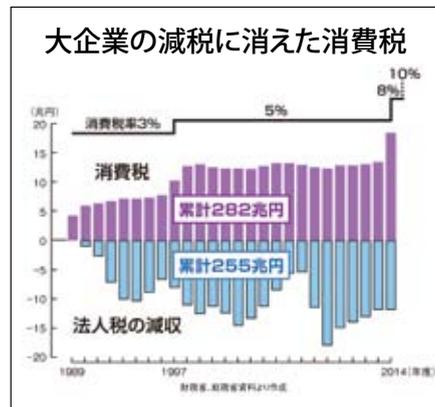
4月からの消費税8%増税や、「海外で戦争する国」づくりなど、危険な暴走を続ける安倍政権。日本共産党はこれにきっぱりと対決し、国の悪政から県民の暮らしと安全・平和をまもる千葉県政への転換をめざして頑張りぬきました。

日本共産党

千葉県議団

消費税8%増税 「社会保障に」との口実は破たん

国民の所得は下がり続け、その一方、物価は急上昇。消費税8%は生活苦に追い打ちをかけ、景気も、財政も壊れます。県は「消費税増税分は、社会保障給付や少子化の経費」と言い張りますが、年金引き下げ、70歳〜74歳の医療費窓口負担は2倍、県内



3万人にのぼる「要支援」の方の約9割が訪問介護と通所介護のサービスから除外されるなど、暮らしが悪くなる話ばかりです。共産党は「社会保障に使う、との口実は破たん」と厳しく指摘し、「消費税に頼らず、能力に応じた税負担で財政再建を、賃上げで収入を増やして景気回復を」と主張しました。

米軍と海外で戦争にのりだす 集団的自衛権行使はゆるされない

安倍首相が公然と踏み出した集団的自衛権の行使は、日本の防衛とは無関係です。政府が「日本の安全に重大な影響あり」と判断すれば、地球の裏側にまでも自衛隊を派兵でき、歯止めがありません。違憲だとしていたイラク戦争(2003年)での武力行使も可能です。

しかも、解釈改憲で強行するなど「立憲主義の否定」に他なりません。自民党関係者や改憲論者からも厳しい批判の声が上がっています。共産党は、憲法9条をもつ日本が、米国のために海外で戦争にのりだす集団的自衛権の行使はゆるされない、と強調し、知事に「反対」の意思を表明するよう求めました。

首相も、知事も

侵略戦争肯定の立場

安倍首相の靖国神社参拝は、内外から大きな批判をよんでいます。戦前の靖国神社は、若者を戦場に駆り立てる役割を担い、戦後は先の侵略戦争を「自存自衛の正義のたたかい」などと美化・宣伝している特殊な施設です。

知事も毎年のように参拝し、侵略戦争だっただかどうかは「歴史家が判断」などと歴史の事実を認めません。共産党は「政治家の参拝は、遺族のお参りとは意味が違う。政治家自身が侵略戦争肯定の立場に身を置くことだ」と、厳しく指摘しました。

みなさんと力をあわせて 県政を動かしています

20年ごしのとりくみ 来年4月から 障害者医療費窓口無料化へ

障害者の方は、いったん病院の窓口で医療費を支払い、後から助成を受けるといって、大変面倒な手続きを強いられています。20年におよぶ障害者のみなさんのねばり強い働きかけで、ようやく県は来年4月から「重度心身障害者(児)医療費助成の窓口無料化」に踏み切ります。

共産党は県議会で、「現物給付(窓口無料化)にすると利用者

が増えてしまう」などとわざわざ使いづらい制度にしている県の姿勢を厳しく批判。市町村も含めて「窓口無料化」を全く実施していないのは、関東の中で千葉県だけであることも明らかにしてきました。

窓口無料化にあたって、障害者に一定額の負担を求めたり、所得制限を強化することのないよう、県に強く求めています。

ピンハネをやめさせ、私学助成の増額へ

国から、私学のためにきていたお金を流用していた千葉県。共産党は「ピンハネやめよ、県独自の上乗せを」と求め続けました。それが県議会の総意となって、いまでは高校や幼稚園の経常費助成に県単独の上乗せが行われています。2014年度、高校生一人あたりの助成単価は前年比500円アップして1万5500円。全国平均をクリアするところまでできました。幼稚園は、園児一人あたり前年比400円増の2800円です。

施設整備費を含む減免を提案

今年度、高校授業料無償化への所得制限導入によって、県の予算が1億9千万円浮きます。これに、あとわずか4千万円を足せば、新1年生の年収250万円までの世帯の施設整備費を含めた学費全体の全額免除が可能です。共産党は「施設整備費が払えず、卒業証書をもらえない生徒がいる」と指摘し、学費全体への減免制度実施を繰り返し迫っています。